

【講演会】

高次脳機能障害を事例で考えてみよう

～見えない違和感を家族が「障害」とわかるまで～

【講師】 櫻木 友紀 氏

櫻木さんの夫は約20年前、30代で脳腫瘍に倒れてしまいました。治療後の夫に感じた違和感から「高次脳機能障害」であることを認識し、支援者と繋がり、亡くなるまでを当事者の妻の立場からお話いただきます。

「高次脳機能障害」の具体例、仕事と子育てもある中、櫻木さんがどう夫の障害と向き合っていたのか、貴重な体験をもとに皆さんと一緒に考えて行く機会にしたいと思いません。ぜひご参加ください。

*令和5年度 武蔵野市障害者福祉センター講演会にて同じ内容を話されました。

日時：令和7年2月8日（土）

午後2時30分～4時30分

**場所：武蔵野市西久保コミュニティセンター大会議室
JR三鷹駅北口より徒歩7分**

主催：三鷹武蔵野社会福祉会

参加費：無料

方法：会場参加 + ZOOMによる視聴

【申し込み】以下のグーグルフォーム、またはメール(お名前、メールアドレス、所属等)
sw.mimu@gmail.comにて
2月3日(月)までにお申込みください。

【問い合わせ先】三鷹武蔵野社会福祉士会
・メール sw.mimu@gmail.com
・電話 070-6660-5622 (後藤)

